

# 平成30年度自己評価報告書



2018年6月1日

## ■ 園の概要

当園は、埼玉県越谷市に昭和 47 年 4 月に学校法人として開園しました。

長年、産業道路沿いの「ピンク色の幼稚園」として子ども達の目ひく園舎にて幼児教育を行ってきました。平成 25 年 4 月、園舎の老朽化や交通量の多い道路事情を考慮し、よりよい教育環境をめざし川柳町へ移転、新築いたしました。

待機児童の増加という現在の子育て事情を鑑み、「少しでも、地域の子育て環境を良くしたい。」との思いから、保育園部門を設置し「認定こども園」として同年開園致しました。

平成 27 年「子ども子育て新制度」に伴い、幼稚園部門・保育園部門が統一され、新たなスタートを切っております。

## ■ 本園における園評価のねらい

- 学校評価を実施することにより、より良い保育や園行事・園運営の充実に生かしていきたいと考えております。職員の自己評価や、外部の皆様に意見を出して頂くためのアンケート調査を行い、前年度よりも内容の濃い園評価を実施していきたいと思っております。

## 学園理念

### 【教育目標】

つよい体やさしい心の子どもに育てる。

### 【保育目標】

家庭的保育かつ集団生活における教育の中で一人一人がいきいきとした生活を送る。

### 【経営理念】

子ども・保護者・教職員に対するサービス心の経営。

## 基本方針

総合的な経験や具体的な活動を通して、情緒の安定した安全な生活を送り、心身の健全な発達を図る。子育て付加事業により、保護者の思いをサポートしながら、子育て環境の活性を図り社会的役割を果たす。

## 教育目標

- 一、心身共に健康で明るい子ども
- 一、がまん強く、頑張りのきく逞しい子ども
- 一、優しく素直で、思いやりのある子ども
- 一、ご挨拶の出来る子ども

## 具体的目標・計画

### ① 教育課程・指導

- ・年間指導計画、週案、月案などの作成
- ・チーム保育などでの職員間の連携

- ・月齢にあった、保育指導案を提供
- ・日々の保育を計画的に行う
- ・子ども達の情報を、学年だけではなく園全体で共有

### ② 保健管理について

- ・乳幼児に対する日常の健康観察
- ・環境検査の実施感染症対策
- ・感染症対策（手指消毒、除菌）
- ・保健計画の作成

- ・登園時や日中の活動中、園児に変わった様子がないか常時観察している
- ・感染症の流行時、オゾン効果のある空気清浄機「トータルピュア」にて蔓延を防止
- ・食事の際は、うがいや手洗いの徹底
- ・保健衛生マニュアルによる、感染症や吐物などへの対処法の徹底

### ③ 安全管理について

- ・防災用品の購入
- ・登降園時の送迎車や自転車の誘導
- ・駐車場の拡大
- ・電子錠による施錠

- ・定期的な備蓄の確認
- ・定期的な AED の電池残量確認
- ・普段から、登降園時の送迎車や自転車の駐車・駐輪を促し安全管理に努めている
- ・毎月一度、避難訓練を行っている

### ④ 組織運営について

- ・教職員への勤務要綱マニュアルの周知（年度当初）
- ・教職員への情報の取り扱い方針の周知（年度当初）
- ・教職員への保健衛生マニュアルの周知（5月）

- ・年度当初に教職員で勤務要綱マニュアルの読み合わせを行った。それと同時に個人情報の取り扱い方や、守秘義務についても周知した
- ・保健衛生マニュアルによる、感染症や吐物などへの対処法の勉強

### ⑤ 研修（資質向上の取組）

- ・資質向上のため全教員が園内外研修へ参加

- ・各保育教諭、園外研修への参加は積極的に行っている
- ・昨年度同様、「園内研修の充実」を今年度も実施

## ⑥ 情報提供

- ・園だよりやクラスだよりなどを通して、保護者に情報を提供
- ・HP を通して園内の情報を提供
- ・ブログや、エントランス内に設置しているモニターにて、その日の出来事を見る事が出来る
- ・学園の公式 LINE にて園内の情報を提供

- ・掲示板や、園内の壁などに必要であるお知らせを掲示
- ・園だよりに記載してある、予定表により行事などを周知して頂いている
- ・HP の新着情報により、園の最新情報を提供
- ・学園の公式 LINE により、子育て支援情報や求人情報などを提供

## ⑦ 保護者・地域住民との連携

- ・集団感染などが流行る時期など、小学校との情報交換を行っている

- ・夏の夕べ（夕涼み）や運動会など、園庭で音響を使用する行事を開催する際は、地域住人に周知して頂くため、お知らせの手紙を1件1件配り歩いている
- ・台風発生時等、小学校と連携し情報を交換

## ⑧ 子育て支援

- ・幼児教室「スターキッズ」
- ・月数回の「園庭開放」
- ・相談内容に応じて、担当者が個別に対応する「子育て相談」

- ・未就園児を対象としたプレスクールを、月に一度 開催している  
5月～10月は2・3歳児、11月～3月は0・1歳児と対象年齢を分けて、教室を開催することにより、月齢に合ったものを提供できている

## ⑨ 預かり保育

- ・就労の有無に関わらず、教育標準認定（1号認定）の方は、幼稚園型一時預かり保育「エンゼルルーム」を18:00まで行っている。

- ・リフレッシュを兼ねての、エンゼルルームを利用も可能

## ⑩ 教育環境整備

- ・遊具などに危険箇所がないか、定期的に点検を行っている。
- ・園庭や園舎など、危険箇所がないか定期的に点検を行っている。

- ・修繕箇所を発見した際は、園長まで直ちに報告  
その後、必要とあれば業者を呼び対応

本務職員 教育目標の達成、学級経営に対する評価

項 目		30年度の… 達成状況・評価・反省
教育目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ つよい体</li> <li>・ やさしい心の</li> <li>・ 子どもに育てる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎日、戸外遊びを積極的に行うことが出来た。又、体幹が弱くすぐに転んでしまう子に対しては、体幹が鍛えられるような遊びを取り入れた。自己主張による子ども同士の衝突もあったが、子ども同士で解決できるよう促し導けた</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家庭的保育かつ</li> <li>・ 集団生活における教育の中で</li> <li>・ 一人一人がいきいきとした</li> <li>・ 生活を送る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活リズムが整っていなかったり、子どもの関わりの中で切り替えが上手に出来なかった家庭に面談をしたり、ノートで伝えたりしながら、園だけではなく家庭と一緒に気持ちの切り替えていくことを共有していった。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 心身共に健康で明るい子ども</li> <li>・ がまん強く、頑張りのきく逞しい子ども</li> <li>・ 優しく素直で、思いやりのある子ども</li> <li>・ ご挨拶の出来る子ども</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 挨拶や返事をルールとしてやってきたことで、子ども達から発する声が大きくなり、共同制作を通してテーマをかかげ、いろんなことに頑張れるようになった。</li> <li>・ 個別に関わる時間を大切にすることで、毎日を落ち着いて過ごすことが出来ていた。毎日の積み重ねで、挨拶も子ども達の中に定着していった。</li> </ul>

項 目		30年度の… 達成状況・評価・反省
学年の年間目標	乳児組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 甘えたい気持ちや自分でやりたい気持ち友達や大人のようにやりたい気持ちを大切に作る。</li> <li>・ 保育者や友達との関わりをのびのびと楽しむこと</li> <li>・ 聞く、見る、触れるなどの経験を通して、感覚や手や指の機能を発達させて、五感を育てる。</li> </ul>
	年少組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的習慣を身に付け励行できるようになる。</li> <li>・ 集団生活に慣れ、友達と関わり遊べるようになる。</li> </ul>
	年中組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園生活に慣れ、喜んで色々な活動に取り組み日常生活に必要な習慣や態度を身に付ける。</li> <li>・ 自分の思いを言葉で伝えられ相手の気持ちを考えたり、思いやりの気持ちをもつ。</li> </ul>
	年長組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループやクラス全体の中で自分の役割を見つけ自主的な態度がとれるようになる。</li> <li>・ 友達との関わりの中で相手の気持ちが分かるようになり、行ってはいけない事やしてはいけないことが分かるようになる。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 気持ちを切り替えて、子どもから伝えられるように待つことが大概出来た。</li> <li>・ 日々の保育の計画をしっかりと立てて、計画に基づきながら毎日保育をすることが出来た。</li> <li>・ 日常生活から製作まで、今できること、出来るようになって欲しいことを考えながら保育することができ、信頼関係を築けた。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎日繰り返して、行うことにより生活習慣が身についた。</li> <li>・ コミュニケーションを常に取りることが出来、その子の思いを受け入れながら目標を持って関わられた。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 普段の保育で発表する機会を作り、少しずつだが自分の言葉で物事を伝える姿が見られた。</li> <li>・ その都度、声掛けをしていたが物の管理についてはまだまだだった。</li> <li>・ 来年度は遊びの幅をもう少し増やしていきたい。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ みんなで考える時間を作り、クラスの問題として解決でき、子ども自ら自分の気持ちを発信できるようになった。</li> <li>・ 図鑑を持って、友達同士で園内巡りをして色々な発見をすることが出来た。</li> </ul>

分掌	30年度の…◆問題点 *検討点 ★良かった点	評価	31年度への改善点
式関係 (始終業式・卒園式)	★全体で会議が出来る時に下ろしたり、レジュメを早めに作り滞りなく開式できた。	A	・次年度も今年度同様にレジュメを早めに作成していく。
伝統行事、こどもの日等	★年長組の真似をして、もちつき体験を手作りの臼や杵で行うことができた。 *親しみを持って取り組むことが出来るよう、分かりやすく子ども達に伝えることが難しかった。	B	・意味や由来も伝えていく。 ・自分の知識の幅を広げ、分かりやすく伝えられるようにする。
食育	★野菜などを自分で育てることにより、食材に興味関心を持つことが出来た。 ★食育教室を繰り返し行っている事で内容が時間が安定してきている。	A	・今後もミールケアとの打ち合わせを都度行っていく。
誕生会	★職員の出し物も幅広く子ども達も楽しんでいたように思う。 *誕生児ではない園児の座る場所が狭い時があるので臨機応変に対応。 *出し物のマイクが通らない事があるので、聞こえるようにしていきたい。	AB	・来年度も新しい出し物を常に提供していく。 ・マイクの確認をし、マイクを使用しないようならば、ステージにて大きな声を出す。
避難訓練	★訓練を通して「〇〇だった時は？」と、考える時間を持ち、職員間で話し合う機会がもてた。 *訓練のパターンが少なく、子ども達と同じ動きをしてしまう事が多かった	B	・急いで逃げることも大事だが、安全の確保もしていく。 ・色々なパターンの訓練を取り入れて、いかなる場面も対応できるようにする。
安全指導・安全点検	★日々の保育の中で、危険な玩具や場所等を保育士同士が共有しながら過ごすことが出来た。 ◆交通安全指導では、0-2歳児クラス向けの指導がされなかった。幼児向きだった為、乳児は参加しなくても良いと思った。	A	・交通安全指導の際、乳児組は指導員に教わるのではなく、各担任が絵本や模擬信号など使用して伝えていく。 ・ヒヤリハットを活用し、情報を共有する。
遠足	★初めての場所に興味を持ち、体験することで楽しむことが出来た。 ◆雨天で流れてしまうことがあった。	B	・雨天時の日案も、具体的に決めておく。
水遊び・夏季プール	★プール指導とは違い、水遊びをメインに出来た事は良かった。 ★テントを張ることにより、暑さ対策を行う事ができた。 *高温による熱中症の心配があった為、安全面を考慮し入水時間を短くしたり、入水する学年を減らしたりして対応した。 *エンゼル利用者が増えてきたことにより、入水者が多い。 ◆体調不良や天候により、入水する機会が少なかった。	B	・園庭で水遊びをする際にはシャツ、パンツを予備で持ってきてもらう必要がある。 ・安全を確保する。 ・無理をすることなく、水に親しむ機会を増やしたい。 ・熱中症アラームを活用し、その場面場面にあった入水方法にて対応していく。
飼育栽培	*季節の昆虫を年中少でも育てる機会をもっても良いと思った。	B	・生き物への関心がさらに持てるように、園内で虫を見つける機会があったら、飼育していきたい。
乳児組・幼児組の連携	★シフトで動きやすくなってきたこと、園の年数も重なってきてスムーズに連携がとれるようになってきた。	B	・引き続きお互いに伝達しあっていく。
園外研修	★自身のスキルUPにつながる研修に参加できた。	A	・引き続き園内研修にて、園外で学んできた事を発表しながら全職員で共有し、学

			びの場をもうけていきたい。
懇談会、面談	<p>★普段バス通園などで中々お話が出来ない保護者とも面談を通して深くお話をすることが出来た。</p> <p>★保育士体験では、お父様方の参加が多くて良かった。</p>	A	・面談の時間は限られているので、気をつけながら行っていく。
読み聞かせ	<p>★日々の保育に様々な絵本を取り入れることで、本に興味を示し、集中して見る事が出来るようになった。</p> <p>◆各年齢や時期によって、読む絵本を選ぶようにしていく。</p>	B	・子ども達が興味を示すように、読み方などを工夫していく。
学年のコミュニケーション	<p>★会議や日々の会話の中で、子ども達の状態や確認事項を共有出来ていたと思う。</p> <p>★学年でコーナー遊びやシャッフル給食をすることにより他クラスとのコミュニケーションを取れていたと思う。</p> <p>◆学年合同で行う、保育内容の連携が不足だった。</p>	AB	・伝達をしっかり行い、学年での連携を深めていく。
子どもと遊ぶ大切さ	<p>★遊びの中で身の回りの始末が出来るように環境を整えたり、思いを共有しながら、一緒に遊ぶことが出来た。</p> <p>*大切さは十分に理解出来ているが、やらなくてはいけないことに追われ、大いに遊ぶことが出来ない時もあった。</p>	B	・しっかりと、週案や日案を計画し、余裕を持って日々の保育を行っていきたい。
子どもに対しての言葉かけや関わり	<p>★一人ひとりに合った声掛けをするように心掛けた。一緒に遊ぶことを積極的に行った。</p>	B	<p>・職員同士で情報を共有し、子ども達との距離を縮めていく。</p> <p>・丁寧な言葉使いを心掛ける。</p>
職員会議など	<p>*会議録だけでは伝わらないこともあった為、会議に参加した職員に直接聞いたりした。</p> <p>*会議を通して、子どもの情報を共有する時間を増やしても良いと思った。</p>	B	・会議録を記入する職員は、抜けのないようにしっかりと要点をまとめて記入する。
施設・設備	<p>◆年数の経過と共に破損しているものや不備のあるものが増えてきた。</p>	B	・年度初め、学期初めにチェックし園長先生に報告。必要とあらば業者対応。
その他	<p>◆保育中の内線が多い。保育優先の環境を整えていきたい。</p>	B	・職員のシフトの事や、子どもに関係のない事は昼食時や降園後など、保育時間外に行う。

以上

全教職員への周知・園内掲示・平成31年HP上への公開を行うものとする。